

## 会員増強と

逗子開成学園校友会

俊藤 寿一（高19回）

A black and white portrait photograph of Shigeru Yoshida, a man with dark hair, wearing a suit and tie.

明けましておめでとうございます。校友の皆様におかれましては新たなお氣持で新年を迎えられたこととご推察いたしま

仕事の上でも利用出来る  
ような会にすることを目指し、事業計画の柱であ  
ります会員の増強と財政基盤の強化を引き続き推進していきます。

具体的には、会員名簿の整理とＩＴを活用し、現役で仕事をされている中堅若手会員にも参加を呼びかけること。それに

校友会の活動も昨年  
からのコロナ禍の影響で常  
任幹事会を始め、各地区

会の総会及びイベントが  
相次いで中止となりまし  
た。

このような状況下ではあります  
が、校友会の活動を更に充実させるとともに校友会員が私生活や

母校は、2020年度  
の大学入試において  
も東大9名他、国公立大  
学128名合格。早、慶

新型コロナウイルスの  
一日も早い終息を祈ると  
ともに、皆様のご健勝と  
ご多幸を祈念申し上げま  
して年頭のご挨拶とさせ  
ていただきます。

校友会をいたしまして  
も母校発展の為 P.T.A.  
の皆様方と協力し、物心  
両面から支援出来ますよ  
う努力してまいる所存で  
す。

今年は受験生にとつて  
もコロナ禍による様々な  
対応が求められると思いま  
すが、その困難にも負け  
ず良い結果が得られま  
すことを心より願つてお  
ります。

はじめ有力私立大へ多数の合格者を出すなど進学校としても着実に発展しております。これも生徒たちの頑張りは勿論のこと、先生方のご努力のお陰であると深謝いたしております。

成長する逗子開成

成長する逗子開成



発行責任者  
逗子開成学園校友会  
〒249-8510  
逗子市新宿 2-5-1  
逗子開成学園内

TEL. 046 (871) 2062  
<http://z-kaisei.org/>  
E-mail:info@z-kaisei.org

「開物成務」の由来  
物を開き務を成す  
(出典=星経盤辯上伝)

校友会は、毎年行ってきた活動の紹介などの

一つにとつて特別で思い出に残るものになるとともに、逗子開成のものつ学年や部活の力や逗子開成のある逗子や葉山の魅力を知つてもらう「きつかけ」にしたいという事が込められた。

模を縮小しての開催となりました。

二日間とも午前8時20分から始まり、23日は正午まで、24日は午後1時までと時間を例年より短縮。来場できるのは事前申し込みをした在校生の家族に限られた。

今年度の開成祭のテーマは「TRIGGER」

卷之三



第70回  
**開成祭**

展示は行わず、海洋教育センターでのグッズ販売のみ行つた。



会報の創刊号が発行されたのは1990年(平成2年)4月1日。校友間の情報交換や親睦に、また校友と母校を結ぶ絆に会報を発行することになったと創刊号の編集後記に記されている。

題字名は校友会常任幹事20人のブレーンストーミングの結果「開物成務」と決まり、題字を当時の理事長の徳間康快氏に揮毫して頂いた。紙面から校友会と母校の30年の歴史を振り返ってみた。

## 校友会会報「開物成務」が発刊30年 紙面から校友会、母校の歩みを振り返る

創刊号(1990年4月)

1面は正門から見た母校と澄田秀夫校長のあいさつ。石川栄三郎前校友会会長の訃報も。

創立85周年記念事業の

徳間康快理事長インタビュー。

地区会会長紹介(敬称略)。

○監事 飯沼久範(35期)、佐藤日出夫(39期)、吉瀬喜之(41期)、岡村純一郎(高4回)、岡田英昭(高2回)、吉野進(高3回)、鬼島三勇(高5回)、小峰八郎(高5回)、行谷喜平(高5回)、大野昭治(38期)、大野昭治(42期)、関野康允(43期)、

○常任幹事 石井久夫(35期)、鈴木稔(35期)、吉村三善(38期)、佐藤三郎(42期)、

○会計 武富和夫(高4回)、佐藤日出夫(40期)、田中達郎(40期)、横須賀会・齊田安道(31期)、

○顧問 德間康快(33期)、佐藤忠司(34期)、鎌倉会・安田昇(42期)、湘南会・武富和夫(高4回)、東北会・山内喜代嗣(31期)。

また、校友会役員の氏名も掲載(敬称略)。

○顧問 德間康快(33期)、本学園理事長・澄田秀夫(本学園中学・高等学校長)、清川謹三(26期・鎌倉文学院理事長・校長)、相談役 新藤貞秋(20期)、角田三郎(28期)、木

一環として建設された85周年記念講堂(現在の徳間記念講堂)が1988年に、また海洋教育センターが1989年に完成。

○会長 澄田登(35期)、田保道(31期)、安藤嘉一(34期)、安田昇(42期)、小

○副会長 田中達郎(40期)、佐藤忠司(34期)、齊

村常夫(28期)、村松治郎(29期)、美才治義雄(34期)

川県職員校友会の紹介。

校友議員で組織する「政友会」総会開催。

10回)、会計 渋谷伊八郎(高11回)

第3号(1992年1月)

職域会として、横須賀教職員逗子開成会と神奈

川県職員校友会の紹介。

校友議員で組織する「政友会」総会開催。

10回)、会計 渋谷伊八郎(高11回)

第4号(1992年5月)

澄田秀夫校長インタビュー。

母校85周年記念事業募

金を1987年から19

91年の5カ年計画です

すめ、2509名の応募

者から1億2353万4

880円の支援。

第5号(1993年1月)

逗子開成野球部が第74

回全国高校野球選手権大

会で強豪チームを相手に

7年ぶりに第4回戦まで

進出。

第6号(1993年5月)

4月18日(日)、母校体

育館で逗子開成学園創立

90周年記念式典。在校生

の父母や校友会役員など

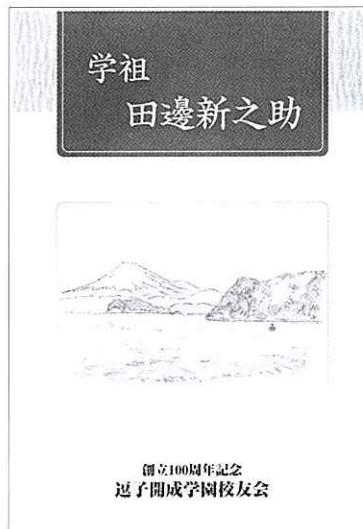
関係者1600人が出席

して90年の歴史を振り返



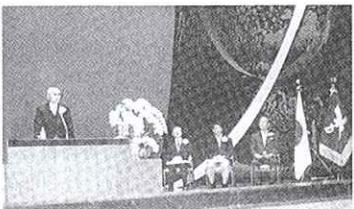
第25号(2003年1月)  
逗子開成100年の歩みをまとめて掲載。百周年記念事業進む。  
校舎を全面改修工事、  
校庭は混合碎石の「グリーンサンド」で整備。

第26号(2003年5月)  
2003(平成15)年4月18日  
新装となつた体育館で  
2千人が参列して盛大に  
100周年記念式典を行う  
(写真・下)



◇◇◇100周年記念式典 ◇◇◇  
2,000人余が参列して盛大に

など総出演者は130名。  
第28号(2004年5月)  
学校長に横山春夫氏が就任。  
園内に1964年に建設された「鎌倉・稻村ヶ崎海滨公園」。



100  
Anniversary

された「眞白き富士の根」記念碑の台座修復工事が終わり献花祭を行う。  
第29号(2005年1月)  
校友会会長に竹腰正保氏(高3回)を選出。

第30号(2005年5月)  
母校セミナーハウス内に校友会事務室が設けられた。

第31号(2006年1月)  
学園理事長に小泉一郎氏(高4回)が就任。

第32号(2006年5月)  
小泉新理事長に聞く。  
校友会前会長・田中達郎氏(40期)、校友会前副会長・川瀬喜之氏(41年)、

八方尾根遭難から25年、事故を振り返る。

期逝去。  
第33号(2007年1月)  
校友会の現状について。全校友2万8千名のうち消息判明1万7千名(60パーセント)、消息不明7千2百名(26パーセント)、物故者3千名(14パーセント)。

第34号(2007年5月)  
校友会の現状について。全校友2万8千名のうち消息判明1万7千名(60パーセント)、消息不明7千2百名(26パーセント)、物故者3千名(14パーセント)。

第35号(2007年9月)  
母校創始者、田邊新之助先生の御令孫、田邊力氏ご夫妻が南米ブラジルから来日。母校や鎌倉女学院、寿福寺の墓所へご

第36号(2008年1月)  
校友会常設委員会の活動紹介。

第37号(2008年5月)  
1994年秋の叙勲に続き文化功労者に顕彰される。

第38号(2008年9月)  
第16代校長に袴田潤一氏が就任。

第39号(2009年1月)  
2005年から資料の収集、分類・整理、編集を重ねてきた校友会史が完成。

第40号(2009年5月)  
吹奏楽部創立80周年記念演奏会(2008年11月、神奈川県民ホール)、陸上競技部「90年の跡音」発刊。

横浜間高校駅伝の結果を報じた「逗子開成新聞」から。「園田・牛尾の力走空し、本校4位に甘んず」。

東京会前会長・飯沼久範氏(35期)逝去。

第41号(2009年9月)  
イタリアで開催された「2009年国際FJ級ヨット世界選手権大会」

第42号(2010年1月)  
学園理事長に立川丈夫氏が就任。

で、高3の下平悠夏君、市川拓海君ペアが優勝。

国内標準規格のフットサルコートが完成(2009年9月)。

逗子開成学園研修センターを開設(2009年10月)。



2003(平成15年)度校友会総会に集いあつた校友

第43号 (2010年6月) 校友会会长に千葉琢巳 氏(高10回)を選出。 ボート遭難百年忌追悼式開催。	◇ 東北会初代会長・山内喜代嗣氏(31期)逝去。	◇ 第44号(2011年1月) 在校生クラブ活動紹介で野球部が1992年以来18年振りに4回戦進出。	◇ 渡部泰雄(谷啓)氏(高3回)逝去。	◇ 第45号(2011年6月) 東日本大震災で被災された地域の一曰も早い復興を願い、校友会が校友から救援金を募り、日本赤十字社に寄託。	◇ 母校吹奏楽部と海上自衛隊がジョイントコンサート。	◇ 第46号(2012年1月) 野球部OB会が現役野球部に硬式ボールを寄贈。大震災被災地の岩手県立山田高校を招き野球親善試合と演奏会。	◇ 第47号(2012年6月) 第17代校長に高橋純氏が就任。 創立110周年シンボルマークと標語・スローガン「未来の海に船を出せ!」決まる。
◇ 第48号(2013年1月) 高4回が傘寿を機に最後の同窓会。 五期会広報誌が60号達成。	◇ 第49号(2013年6月) 創立110周年記念式	◇ 第50号(2014年1月) ボート遭難事故から1 03年、犠牲者をしのぶ チャリティー音楽祭開催 (2013/8/16)。	◇ 第51号(2014年7月) 校友会会长に志村政俊 氏(高17回)を選出。	◇ 第52号(2015年1月) 明治大学のヨット部主将 に。	◇ 第53号(2015年7月) 校友会から故徳間康快 樹氏(高49回)。	◇ 第54号(2016年1月) OBが慶應義塾大学、 明治大学のヨット部主将 に。	◇ 第55号(2016年7月) 校友会が生徒への支 援・助成策の一環として 「奨学生支援制度」を創 設。
◇ 第56号(2017年1月) 医系を目指す生徒、保 護者を対象に行われた 「医・歯・薬・獣医学部 説明会」で、校友の西井 鉄平氏(高46回・横浜市 立大学附属市民総合医療 センター呼吸器病センター 外科助手)が講演。	◇ 第57号(2017年7月) 校友会が海外にチャレ ンジする生徒を支援する ために「海外留学生支援 制度」を新設。	◇ 第58号(2018年1月) 学園理事・評議員に志 村政俊氏(高17回)、評 議員に山尾訓一氏(高16 回)と後藤寿一氏(高19 回)を選任。	◇ 第59号(2018年7月) 校友会が生徒たちのク ラブ活動の活発化に役立 つために「クラブ活動助 成制度」を新設。	◇ 第60号(2019年1月) 高校ヨット部、福井国 体男子420級で46年ぶ りの優勝。全国高校總体 では34年ぶりの優勝と素 晴しい結果を残す。	◇ 第61号(2019年7月) 高校演劇部、全国大会 出場へ。ヨット部は高校 総体出場決定。	◇ 第62号(2020年1月) 卒業10年・11年目と20 年・21年目の校友を対象 に、母校主催で「ホーム カミングデー」開催。(5 /11)	◇ 第63号(2020年7月) 令和2年度校友会総会 は、新型コロナウイルス 感染拡大による緊急事態 宣言が発せられたため、 5月30日の開催を中止 し、資料郵送による議案 の書面審議とはがきによ る賛否評決により総会を 実施した。
◇ 第64号(2020年1月) 葉山港で開催された国 際FJ級選手権大会兼第 33回全日本FJ級選手権 大会レースは52艇で全11 艇が参加。	◇ 第65号(2021年7月) 高校演劇部が第43回全 国高等学校総合文化祭兼 第65回全国高等学校演劇 大会(佐賀大会)で、最 優秀賞を受賞。(7/27 (29))	◇ 第66号(2021年7月) 高校ヨット部が茨城 県・霞ヶ浦特設セーリン グ会場で開催された国体 少年男子420級で3位 入賞。(9/29~10/2)	◇ 第67号(2021年7月) 横須賀市文化会館)	◇ 第68号(2021年7月) 高校演劇部が第43回全 国高等学校総合文化祭兼 第65回全国高等学校演劇 大会(佐賀大会)で、最 優秀賞を受賞。(7/27 (29))	◇ 第69号(2021年7月) 高校演劇部が第43回全 国高等学校総合文化祭兼 第65回全国高等学校演劇 大会(佐賀大会)で、最 優秀賞を受賞。(7/27 (29))	◇ 第70号(2021年7月) 高校演劇部が第43回全 国高等学校総合文化祭兼 第65回全国高等学校演劇 大会(佐賀大会)で、最 優秀賞を受賞。(7/27 (29))	◇ 第71号(2021年7月) 高校演劇部が第43回全 国高等学校総合文化祭兼 第65回全国高等学校演劇 大会(佐賀大会)で、最 優秀賞を受賞。(7/27 (29))

平成4年(1992年)入会、平成5年の第4回東京会総会に初めて出席、同期知人もいなく、初めて会う諸先輩らでどう話して良いのやらガチガチ固まっていたのを覚えています。そのとき諸先輩より気楽に話して頂き、逗子開成校友のお付き合いの楽しみを知り、その後東京会、他地区会との交流、学校行事のお手伝いをさせて頂いております。今期より、菅野会長より東京会6代目会長として引き継ぐこととなり、今までのお手伝いは基より会員同士の交

## 東京会

落合 和仁さん・新任  
(高18回)



流、新規会員の増員、企画等推し進めていきたいと思っております。

9地区全ての会長より改めて会員の皆さんへ自己紹介や今後の地区会運営への意気込みについて紹介いたします。校友会は各地区会の会員の皆さんのご協力があつて運営されております。

各地区会長のもと、コロナに負けることなく会が発展していくことを期待いたします。

## 取り組みと対応

川崎会に所属して、すでに30年超、安藤会長(34期・1940年卒)とのご縁がスタートでした。卒業生の少ない地域柄もあり、人縁に頼る会ですが、歴代会長のご尽力もあり、入会時頃20数名の会が70名を数える会員となりました。特に最近の5年間は、高40回代以降の若い世代が増え、他地区会へ波及できればと期待を大にしています。

川崎会を次世代へ繋ぐ役割として、多世代(世代間)と交流を持つ事と思

## 川崎会

畠野 英司さん  
(高21回)



い、日頃から、多種多様な場で活躍する校友を探しています。

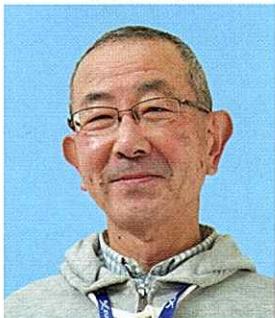
41年前、旧制21期の故富永速雄先輩から湘南地区に住む6名に「懇親茶話会」開催のご案内があり、そこに集った先輩方と共に湘南会の活動を開始しました。富永会長に続き、3名の先輩が会長として湘南会発展に尽くされ、昨年度の役員改選で私が第5代会長の重責を担うことになりました。

在学時は新聞部。高校卒業後就いた広告会社では母校の広告を扱っていたので担当となり、今度は仕事で母校へ通う事に。新聞社と協働で母校創立特集紙面などに携わってきました。

湘南会エリアの校友は2千名を超えます。会報の発送を出来

## 湘南会

柴田 一男さん・新任  
(高21回)



るだけ多くの校友にと努めており、新たな友を掘り起こし、喜んで集い合える会を目指します。

38年間の小学校教員を定年で終え、市教委相談員を経て教職課程で学ぶ学生の指導に携わってきました。

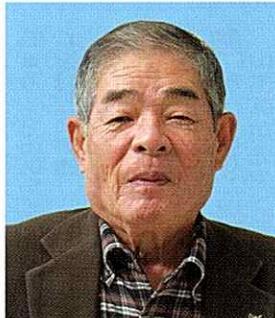
今年度、僭越ながら横浜会会长を仰せつかり身の引き締まる思いです。コロナ禍で、未だ新役員の方々と顔合わせや打ち合わせができるのが一番の気がかりです。活動が制限される中、本部の後藤会長がおっしゃっている会員増強を地区会でも最大の課題にしたいと考えています。

微力ですが、坂巻幹事長や常任幹事の方々、校友会の皆様のご支援とご協力を

賜り、校友会や母校逗子開成発展のため頑張りたいと思っています。

## 横浜会

齋藤 一雄さん・新任  
(高19回)



## 鎌倉会

櫛引 信明さん・新任  
(高17回)



鎌倉会会長に就任しました高17回櫛引信明です。令和3年の新年に際し、新年のご挨拶を申し上げます。

私は志村前会長の母校理事長就任による会長退任に伴い、令和2年度鎌倉会総会において選任されました。

さて、鎌倉会の校友会会員入金者は過去5年間、前会長及び幹事団の皆様のご努力で微増ではありますですが伸びております。

この傾向を維持または発展させるために、情報発信を幹事団の皆様の協力

と志村前会長の助力を頂き活動したいと考えております。

## 地区会長からのご挨拶

### 6地区が新会長となりました

#### 6地区が新会長となりました

令和2年度はコロナウイルスの影響で、本部総会をはじめ、全ての地区会で総会が中止となってしまいました。そんな中、6地区で

会長の交代がありました。

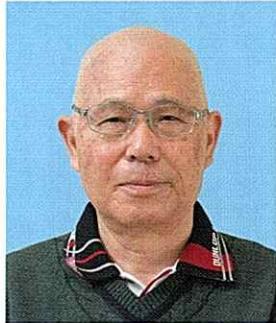
9地区全ての会長より改めて会員の皆さんへ自己紹介や今後の地区会運営への意気込みについて紹介いたします。校友会は各地区会の会員の皆さんのご協力があつて運営されています。

各地区会長のもと、コロナに負けることなく会が発展していくことを期待いたします。

令和2年度は新型コロナウイルスの影響により校友会逗子会の活動を自粛しておりました。日頃より校友会逗子会の活動に、ご協力を賜り有難うございます。世界的に蔓延する状況下の中、会員そしてご家族の方々の健康を守るために体調管理に気をつけて、一日も早く終息する事を祈っております。令和3年は東京オリンピックも開催され、校友会逗子会に於いてもイベントで皆様とお会いできればと思っております。尚、役員一同新会員の増強活動に努めてまいりますので、ご協力お願い申し上げます。

## 逗子会

鈴木 克幸さん・新任  
(高16回)



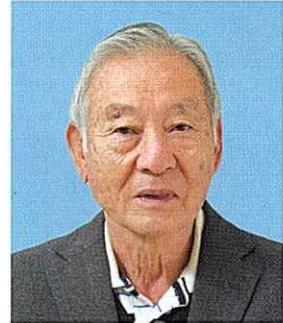
葉山町の人口は3.3万人で葉山会会員は450名で会費納入者は80名前後で、私は7代目の会長で14年続けています。

私は2019年に校友会副会長と学園の理事(6年)と評議員(8年)を離任しました。

この間に校友会会員の親睦の為にゴルフ大会を葉山国際CCで13年続けました。これからも学園の益々の発展と校友会の充実の為に微力ではありますが務めて参ります。

## 葉山会

鈴木 正祐さん  
(高11回)



横須賀開成会の伝統を守る  
この度、地区会会长に選出されました稻葉英雄(高13回)です。

私は本校では、中・高剣道一筋に打込み剣道部主将として活躍しておりました。今でも剣道部OB会会长として長年後輩の指導に当たっています。

令和2年6月地区会会长に就任しましたが、新型コロナウイルスの影響もあり、十分な活動、事業が行えない状況ですが、役員の方々及び会員の皆様のご協力を得て、楽しい会として発展・継続出来ますよ

## 横須賀会

稻葉 英雄さん・新任  
(高13回)



う努めてまいります。  
今後ともよろしくお願ひ致します。

日頃より、三浦会の活動にご協力をいただきありがとうございます。

令和2年度の三浦会の活動は新型コロナウイルス感染症の影響により自粛しておりました。

世界的に蔓延する状況の中、会員とご家族の方々の健康を守るために、体調管理に気をつけて、一日も早く感染症が終息することを願っております。

令和3年度は、元気に皆様方と様々なイベント等々でお会いできる日を楽しみにしております。

## 三浦会

菊地 一憲さん  
(高16回)



キーワードは「信頼」です。



## 小島法律事務所

横浜市中区住吉町2-21-1  
フレックスタワー横浜関内402  
TEL 045(671)9141

横浜会の連絡事務所も兼ねております。

<http://www.law-kojima.com>

弁護士 小島 衛

(高17回卒業)  
早稲田大学法学部卒業  
元横浜弁護士会副会長

弁護士 小島 啓

取扱 民事・家事

例年1月に稻村ヶ崎公園で行っているボート遭難記念碑清掃と2月の寿福寺への田邊新之助初代校長の墓参はコロナウィルスの状況を鑑み、鎌倉会の幹事のみで行うことといたしました。

この行事に長年ご協力いただいている皆様には、

鎌倉会から  
のお知らせ

ご理解をお願いします。  
この状況が改善し、また皆様とともにこの二つの事業を行える状況になりましたら、改めてご案内いたします。





日本映画カメラマンの創始者  
三村 明(ハリー三村)さん(13期)

社、『絹に泥靴』が日本でのデビュー作です。東宝設立とともに専属となり、黒澤明のデビュートップカメラマンとして不動の地位を築き日本映画の撮影技術の基礎を作りました。撮影を担当した日本劇場用映画は100本を越えます。

1946年（昭和21年）には進駐軍の戦略爆撃調査団の要請で、郷里でもある原爆投下後の広島の米軍映画撮影隊に日本人として唯一参加。未曾有の惨状をカラーフィルムに収め、1970年代に日本で公開され大きな反響を呼びました。アメリカ映画界に於ける撮影監督の組織などを参考に撮影者集団の組織化に向けて尽力し、日本映画撮影監督協会（JSC）の初代理事長に就任。17年間その職務を務めました。

1975年（昭和50年）歎四等瑞宝章受章。

※日本映画撮影監督協会（JSC）の初代理事長は三村明さんですが、4代目の兼松熙太郎（きた

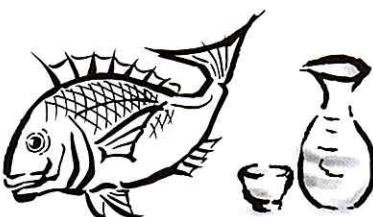
ろう)さんも逗子開成のOBで、現在まで5人の理事長のうち2人が逗子52会では過去4年間、恩師である上野先生、坂田先生のご同行をいただきながら八方尾根慰霊登山を行ってきましたが、2020年に関してはコロナウイルス感染の収束状況が見込めず集団での慰霊登山は中止としました。しかし、思いを持つて続いている慰霊登山を中心とするではなく三密を避けて個人での実施なら可能と考えて9月初旬に実施しました。GOTOトラベルがスタートしてばかりでしたが、思ひがけずに恩恵にあづかりました。

この日は天気が良く八方尾根からのパノラマを堪能しながらの慰霊登山

A photograph of a man in a blue shirt standing next to a tall, cylindrical stone cairn on a rocky mountain peak. He is smiling and looking towards the camera. The background shows a vast, green mountainous terrain under a clear sky.

## 三浦半島の海と畑が育てた弥平

# 弥平本店



元231-0064

神奈川県横浜市中区野毛町2-90  
☎045-251-6933

弥平 新子安店	横浜市神奈川区子安通3-301 TEL.045-441-2939
弥平 鶴屋町店	横浜市神奈川区鶴屋町1-7-18 TEL.045-620-8159
港 バル 弥平	横浜市神奈川区子安通3-302

高杉 茂(高21回)  
剣道部OB

慰靈碑と松川にかかる二股の橋からガラガラ沢を望み、ゆかりの地の慰靈碑を終えました。

今回はコロナウイルスの影響でタイトなスケジュールでの慰靈登山ででしたが、充実した一日を過ごすことが出来ました。今年はコロナウイルスが収束し、皆で安心して慰靈登山が実施できることを祈念します。

ご遺族や各地区会などが、  
ら寄せられた訃報です。  
謹んでお知らせします。

渡邊 重雄さん (33期)  
瀧川 登さん (35期)  
三澤 久雄さん (38期)  
山崎 栄治さん (39期)  
四方 浩さん (40期)  
降幡 光一さん (41期)  
魚住 孝男さん (高2回)  
竹腰 正保さん (高3回)  
高野 實さん (高3回)  
片桐 昌男さん (高7回)  
津田 清さん (高10回)  
飯沼 哲夫さん (高10回)  
山田 能通さん (高10回)  
白井 陽昌さん (高12回)  
石川 俊夫さん (高17回)  
吉田 岩夫さん (高20回)  
田中 隆夫さん (高21回)  
畑中 晓さん (高23回)  
俊秀さん (高29回)